



広報 第二号

さくら前線

今月は埼玉県の春日部さくら病院の紹介です

風邪と薬剤耐性菌問題について



春日部さくら病院

院長 相馬 亮介

近年、薬剤耐性菌が非常に問題と なっています。

薬剤耐性菌とは抗生物質に抵抗力を 持った細菌のことで、健康な人に影響 を与えることは少ないですが、高齢者 やがん治療等で免疫力が低下してい る人に感染すると重症・難治化し、病院 や施設等で集団発生することもある 非常に問題となっている菌です。

薬剤耐性菌が増加した主な原因は 抗生物質の不適切な使用とされてい ます。特に内服の抗生物質が普及す る様になって使用が簡便になったこと が原因といわれています。不適切使用 について最も言われていることは風邪に 対する抗生物質の使用です。風邪の 原因の80%、90%はウィルス感染が原 因とされています。抗生物質は細菌感 染にしか効果がないので風邪の治療は 解熱剤や咳止めといった対症療法が 中心となります。

私が医師になったばかりの頃は細菌感 染合併の予防目的で抗生物質が使用さ れることもありましたが、現在ではその様 な効果はないこともはつきりしています。も ちろん細菌感染が疑われる場合には抗生 物質を使用しますが、その際にはどの様な 細菌に感染しているのかを喀痰検査で調 べるのが大事です。

2016年に政府は抗生物質の使用量 を減らす目的で薬剤耐性アクションプラン を策定しました。その中の一つに抗生物質 に関する教育と抗生物質の適正使用が あげられています。

私たち医師は①風邪はほとんどウィルス が原因である②抗生物質は細菌感染にし か効かない③人には免疫という自己防御 システムがあることを患者さんに説明する だけでなく、抗生物質を使用する際には どの様な細菌に感染しているのか検査を 行うことが大事ではないかと思えます。

施設紹介 『春日部さくら病院』

当院は、平成13年に設立された透析医療を主 とする医療機関で、急性期病棟35床を持つ救急 告示病院「愛和病院」の名称で運営を開始しまし た。

その後、平成27年に医療法人社団さくらライフの グループ法人の1つとなり、平成29年に名称を「春 日部さくら病院」へ変更、患者様に安心して長期療 養をして頂くため、病棟を急性期から医療療養型

へ転換、さくらライフの得意とする「在宅診療」を開始 し、外来から入院、透析、退院後は在宅での療養や居 宅介護支援といった、医療から介護の一貫したサービ スを提供することが可能な複合施設となっております。

また在宅医療は、24時間の 緊急対応が可能な在宅療養支援 病院の指定を受けております。

春日部市のお隣、千葉県にも 近いため埼玉県だけでなく、千葉 県からも患者様が来院されます。 県境ののどかな環境で、5月に は左記に紹介する大風あげ祭り も当院の近くで開催されます。

お近くにお越しの際は是非 見て頂ければと思います。

春日部市の紹介『大風上げ祭り』

春日部には「大風あげ祭り」というお祭りがあるのをご 存知でしょうか？

毎年5月の3日と5日に子供たちの健やかな成長と幸福 を願い、市民一体で開催されるお祭りです。

この大風、縦15m、横11m、なんと畳100畳分の大き さがあります。大風を揚げる人数は百数十人！

和紙と竹で3ヶ月もかけて春日部市「庄和大風文化保 存会」の会員の方たちが作っているそうです。

大風が揚がるのを河川敷から人々がワクワクしながら 見守ります。他にも色々な風 が空を舞うので、見応えた っぷりです！

大風あげ祭り、ご興味があり ましたら是非「春日部」に遊 びに来て下さい。

